

# 文化財 史 跡

## 世界 遺産

### 学ぶ 感じる 体験 Learn Feel Experience



人間国宝の陶芸家、金城次郎氏の作品展示



座喜味城跡の石積みパズル



読谷村および県内作家の収蔵品を展示



村内の遺跡と出土遺物の展示



亀甲墓のジオラマで、死後の世界を体験



戦前・戦後の暮らしの中で使っていた道具



チビチリガマでの様子を再現したジオラマ

## 読谷の遺跡

### 1 吹出原遺跡

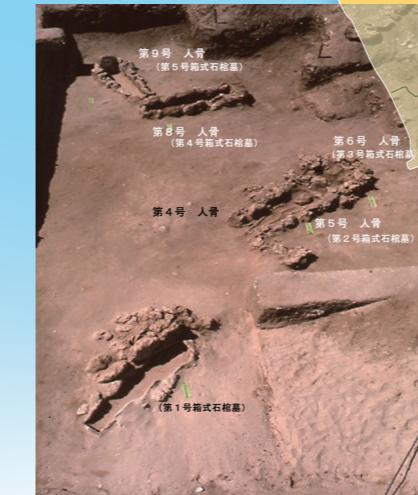


海岸から離れた見晴らしの良い標高約70mの高台にあり、約3000年前（縄文時代後期相当期）と、約800年前（グスク時代）の生活跡が見つかりました。



1670年頃に造られた窯です。発掘調査の結果、道路になっていた地面の下から3つの窯跡とともに物原（失敗した作品の捨て場）が見つかりました。

### 3 木綿原遺跡



約2200年前の遺跡で、九州弥生時代の墓とよく似た箱式石棺墓が7基発見されました。九州各地のリーダーらが好んで身に着けた腕輪やその材料となるゴホウラやイモガイ、九州産の黒曜石や土器などが見つかり、当時沖縄と九州をつなぐ「貝の道」ルートの存在がわかりました。

1978（昭和53）年11月15日に国指定史跡に認定されました。

### 4 大湾アガリヌウガン遺跡



11～13世紀のグスク時代初期の遺跡です。比謝川支流の長田川沿いの険しい崖の上にあります。発掘調査で、建物や柵の跡などが見つかりました。



### 座喜味城跡

読谷山按司護佐丸によって1416年（1422年の説もある）に築かれたと言われています。護佐丸は築城家としても知られ、城壁は3種類の積み方でとても頑丈に造られています。また、2つの城門にはクサビ石が使われるなど特徴的な技法も見られます。

日本復帰の1972（昭和47）年に国指定史跡となり、2000（平成12）年12月2日には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」のひとつとして世界遺産に登録されました。

